



北、ミサイル失敗か

数分後「洋上に落下」

国内に影響なし

日本政府は13日、北朝鮮による長距離弾道ミサイル発射に關し、藤村修官房長官が午前8時半すぎに記者会見し、午前7時40分ごろ、北朝鮮から

何らかの飛翔体が発射されたと正式に発表した。韓国国防省の報道官は13日、北朝鮮が人工衛星と主張する長距離弾道ミサイルを同日午前7時39分

ごろに発射したが、数分後にいくつかの破片に分離しながら墜落し、発射は失敗したと推定されると発表した。米CNNテレビも米政府高官の話と

して、発射は失敗したと伝えた。発射されたのは短距離ミサイルとの情報もある。藤村氏によると飛翔体の発射場所は北朝鮮西

岸。飛翔体の発射数は不明だが、南の方向へ発射され、発射後、数個に分かれたもようだと述べた。藤村氏は「わが国への落下物などによる影響は一切ないと考える。国民の皆さんは冷静に平常通りの生活、業務に就いていただくようお願いする」と述べた。

田中直紀防衛相は「何らかの飛翔体が北朝鮮から発射されたとの情報を得ているが、洋上に落下したもようだ。わが国領域への影響は一切ない」と記者団に述べた。飛翔体が1分以上飛行したとも述べた。同時に「不測の事態に備えて引き続き緊張感をもって万全の態勢で臨んでいく」と強調。

政府筋は13日、飛翔体は上空約1000キロの付近で、少なくとも三つに分裂したと明らかにした。



北朝鮮が公開した、ロケット「銀河3号」とみられる長距離弾道ミサイル=8日、北朝鮮北西部・東倉里